



埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 第11回学術集会のご案内



社会福祉子ども学科教授 市村彰英

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 第11回学術集会

学術集会テーマ：子どもと家族に寄り添う協働と連携を考える

～安心して子どもを産み、育てられる社会をめざして～

【開催目的】

COVID-19による感染が拡大する中、不安や曖昧さの中で子育てをしている母親や父親たちは、どのような支援を求めているのでしょうか。

また一方でこのような方々を支える支援者たちは、どのようなサポートができるのでしょうか。

未曾有の状況を凌ぎつつ、子育て支援のための教育プログラム、助産師やボランティアのアウトリーチによる支援、さらに児童養護施設に保護されている要保護児童やその親たちに対する支援はどのような協働と連携のもとに続けられているのでしょうか。

これらの背景を踏まえ、今回の学術集会の目的は以下の通りです。

- (1) 第一線の現場で活躍されている支援者たちが、その現況を報告し、共有してみたいと思います。
- (2) 子ども、母親、父親など利用者たちが望む子育て支援の方法やそれらに対して、私たちは一体何ができるのかという今後の課題について、シンポジウムを通して皆様と共に考えていきます。

【開催日時】 2020年10月31日(土) 13時～16時

【開催方法】 オンライン開催

参加登録をいただいた方に、後日、オンライン参加方法詳細についてご連絡いたします。

参加される方は以下よりご登録のほどよろしくごお願いいたします。

[参加受付フォーム](#)



※参加登録締切 10月10日(土)

【参加費】 無料

【プログラム】

12時30分	受付開始
13時00分	第11回学術集会会長 市村彰英 挨拶 講話
13時20分	教育講演 十文字学園女子大学 教授 加藤則子氏
14時10分	シンポジウム：シンポジスト3人発表 埼玉県社会福祉事業団 児童養護施設いわつき 所長 川方弘子氏 ホームスタートこしがや 近澤恵美子氏 在宅医療の訪問看護ステーションひまわり 産後ケア専門助産院まちの助産婦 横井聖美氏
15時00分	シンポジウム
15時30分	フロアとの応答交流
16時00分	閉会

【演題(誌上发表)登録期間】 2020年8月1日(土)～2020年9月18日(水)です。

申込方法等詳細は学会ホームページをご覧ください。多数のご応募をお待ちしております。

<https://www.spu.ac.jp/about/tabid975.html>

投稿論文募集

学会誌編集委員会

『保健医療福祉科学 Journal of Human Care Sciences』 投稿論文募集のお知らせ

本学会誌は、平成31年春より国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）による「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）に連載を開始しています。

論文の受付は、年間を通し随時行っております。投稿の際には、投稿規程および倫理指針をご熟読の上、ご投稿ください。皆様からの投稿をお待ちしております。

なお、投稿規程は改定する場合があります。埼玉県立大学保健医療福祉科学学会ホームページ（<https://www.spu.ac.jp/about/society/>）で最新版のご確認をお願いします。

下記QRコードからもアクセスできます。

連絡先 〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820
埼玉県立大学内「保健医療福祉科学」編集委員会事務局
E-mail : spu-jhcs@spu.ac.jp



* 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 入会のご案内 *

会員数160名（2020年3月31日現在）です。教員・研究者の方々や大学院生、学部生の卒業研究、また保健医療福祉領域でご勤務されております臨床の方々の日頃の成果の発表の場として、是非本学会をご活用下さい。

入会金：不要

年会費：正会員 4000円 準会員（大学院生を除く学生）1000円

入会方法：入会申込書をご記入の上、下記メールアドレスまたはFAXにて送付いただき、指定口座に年会費をお振込み下さい。

入会申込書は本学会ホームページよりダウンロードできます。

入会についてのお問い合わせは、下記の学会事務局までご連絡下さい。

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会

〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820

FAX : 048-973-4773

E-mail : gakkai@spu.ac.jp

ホームページ : <https://www.spu.ac.jp/about/society/>



お知らせ

ニュースレターは、9月と3月の年2回発行を予定しております。9月はメールで配信いたしますので、メールアドレスの変更がある方は、左記事務局までご連絡下さい。

また、本学会ホームページにも掲載予定です。是非ご覧ください。

SPU 学会 News Letter 第2号編集担当